

# 島根県地域医療再生計画における課題を解決する方策

## 1 課題を解決する方策

①課題：今後、多数養成される奨学金の貸与を受けた医師等が確実に県内に定着し、地域の医療機関へ勤務してもらえるよう誘導する仕組みの構築が必要  
毎年、県内高等学校から平均200人程度が県外の看護師等学校養成所へ進学し、うち100人程度が県外就業しており、県内進学の受け皿が必要

目標：後期研修医数を平成26年度に56名へ増加させる(平成23年度:44名)  
勤務環境・生活環境の改善による働きたくくなるような魅力ある病院づくり  
看護職員の県内就業促進のため、県内出身学生の増を図る

対策：医師・看護職員等の育成・キャリア形成支援(6.1億円)  
(1)地域医療支援センターの整備・運営  
(2)診療科ネットワークを構築し、若手医師を育成  
(3)二次医療圏における医師・看護職員等の研修環境の整備  
(4)看護師等養成所の新規開学を支援

②課題：医師・看護職員の県外流出、離職等を防止するため、医師・看護職員の負担軽減を図る勤務環境の改善が必要

目標：離職の要因である出産時の支援を行うため、院内保育所の整備率を7%押し上げる。(27%→34%)  
医師事務作業補助者の雇用促進を図り、医師の負担軽減を図り、働きたくくなるような魅力ある病院づくり

対策：医師・看護職員等の勤務環境の整備(6.8億円)  
(1)院内保育所の整備  
(2)医師・看護職員等宿舎の整備  
(3)医師事務作業補助者の雇用

③課題：医療機関連携強化のため、情報共有の事務負担を軽減するとともに、瞬時に情報共有できる環境整備が必要

目標：医療機関の機能分担と連携による医療提供体制を推進(※地域の若手医師へのバックアップ体制の強化)

対策：医療ネットワークの推進(重複受診・重複検査の抑制と重複投与の防止)(9.9億円)  
(1)ITを活用したネットワーク基盤の整備拡充  
(2)連携システム整備  
(3)電子カルテ整備

④課題：県内の二次救急医療機関の機能低下等により三次医療機関への患者の集中に加え、急性期を過ぎた入院患者の受入先の確保が困難な状況

目標：各医療機関の役割分担により患者の集中の分散や回復期等の患者の後方病床の確保による三次医療機関の医療機能の確保

対策：医療機関の施設・設備整備(13.8億円)  
(1)二次、三次医療機関、回復期の医療機関の施設・設備整備  
(2)医療機関の統合・再編  
(3)広域患者搬送にかかる施設・設備整備

⑤課題：放射線治療専門医をはじめとするがん診療専門医の不足による地域間格差・施設間格差の解消が必要

目標：放射線治療専門医並びに薬物療法専門医の養成及び地域偏在の解消によるがん診療の均てん化の推進

対策：がん医療・育成の総合的な対策(1億円)  
(1)地域がん診療教育センターの整備  
(2)がん治療等に関するネットワーク整備

## 2 地域医療再生計画終了時の姿

- ・医師・看護職員の確保対策、県内定着対策をオール島根県で進めるため、地域医療支援センターの設置、勤務環境の改善などにより全県的な体制を構築する。
- ・これにより、医師・看護職員の確保を推進し、三次医療圏の救急医療体制の確保、現在の二次医療圏の中核的病院の機能を可能な限り維持するとともに、圏域を越えた医療連携体制、一次から三次医療機関の連携強化により切れ目のない医療提供体制を構築する。



# 島根県地域医療再生計画の概要

## ■ 医師・看護師等のキャリア形成支援

オール島根県で医師・看護師等のキャリアアップを支援するための体制整備

地域医療支援センターの設置

研修環境の整備

## ■ がん医療人の育成支援

- 教育拠点の整備
- ネットワークを活用した教育

<救命救急センター>

県立中央病院

<救命救急センター>

松江赤十字病院

<救命救急センター>

鳥大学附属病院

患者が集中

地域の医療機関に医師・  
看護師が集まる仕組みづくり

## ■ 医療機関の統合・再編

医療機関の統合・再編による後方  
支援機能の充実

## ■ 三次救急医療機関等の機能強化

救命救急センター等の設備整備を支援し、三  
次医療圏の医療体制を強化

島大附属病院

看護師養成施設

## ■ 二次医療機関の機能確保

三次医療機関との連携を強化し、圏域内で必  
要とされる医療を提供できる体制を整備

## ■ 回復期を担う医療機関の整備

急性期を過ぎた入院患者の受け入れ先  
の確保

<救命救急センター>

浜田医療センター

江津総合病院

高砂病院

連携強化

## ■ ITを活用した連携強化

県内全域の医療機関を共通のネットワーク基  
盤でつなぎ、連携支援のためのシステムを開  
発・運用するとともに電子カルテ導入を支援  
し、重複受診・重複検査等の抑制、医療機関  
連携の促進を図る

益田赤十字病院  
・救急、周産期機能  
等を整備

## ■ 広域患者搬送

高次医療機関への救急患者、重篤患  
者の転院搬送等広域搬送体制の整備

## ■ 勤務環境の整備

医師事務作業補助者の採用

院内保育所の整備

医師看護職員等宿舍の整備

全県的に深刻な  
医師・看護師不足